地域リハビリテーション
連携強化研修会

奈井江町における新規事業報告

令和5年8月30日(水)

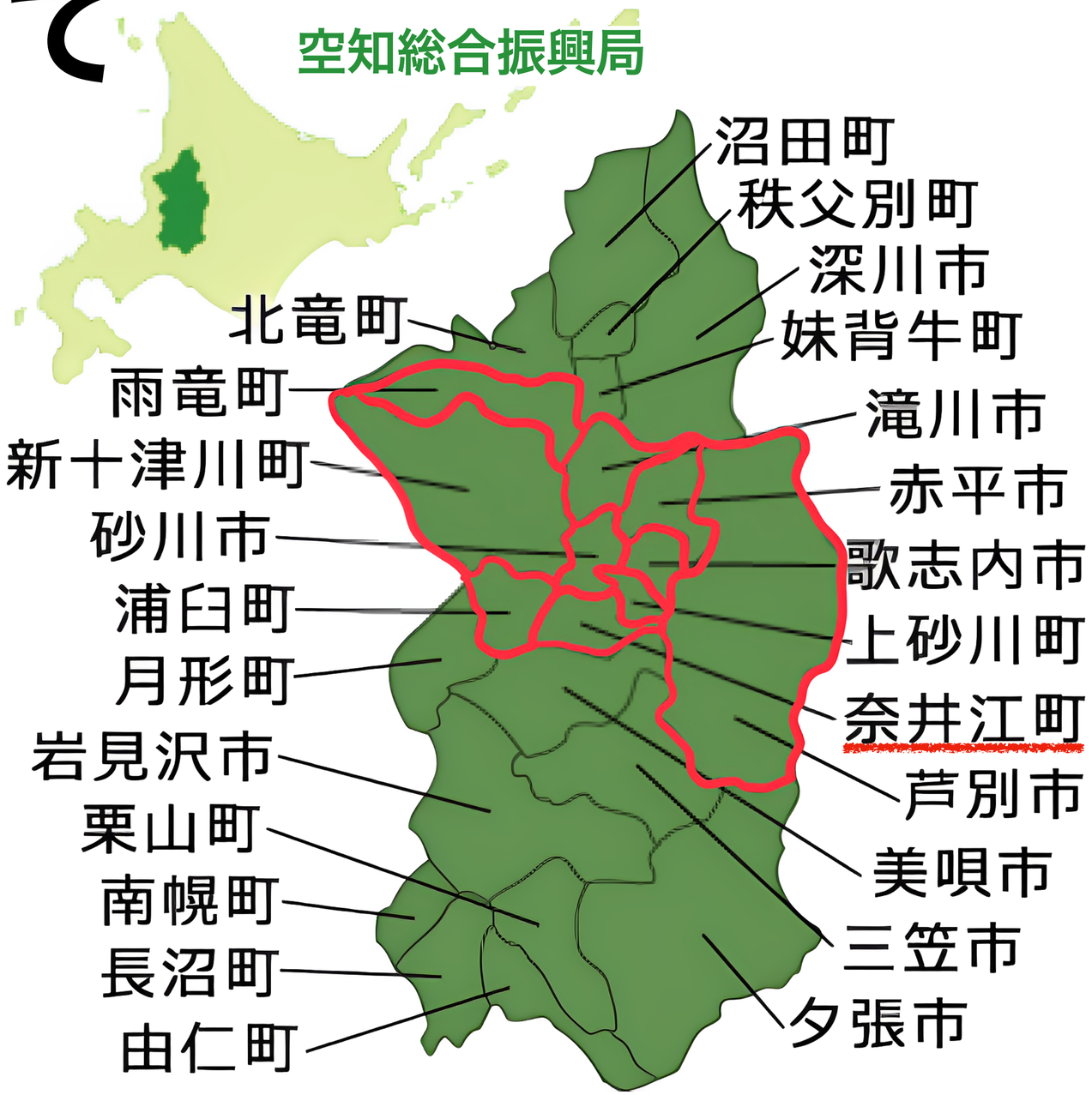
社会福祉法人 日本介護事業団
介護老人保健施設 健寿苑 藤本大樹

中空知地区について

５市５町にて構成

人口：約10万人

高齢化率：約40%



奈井江町について

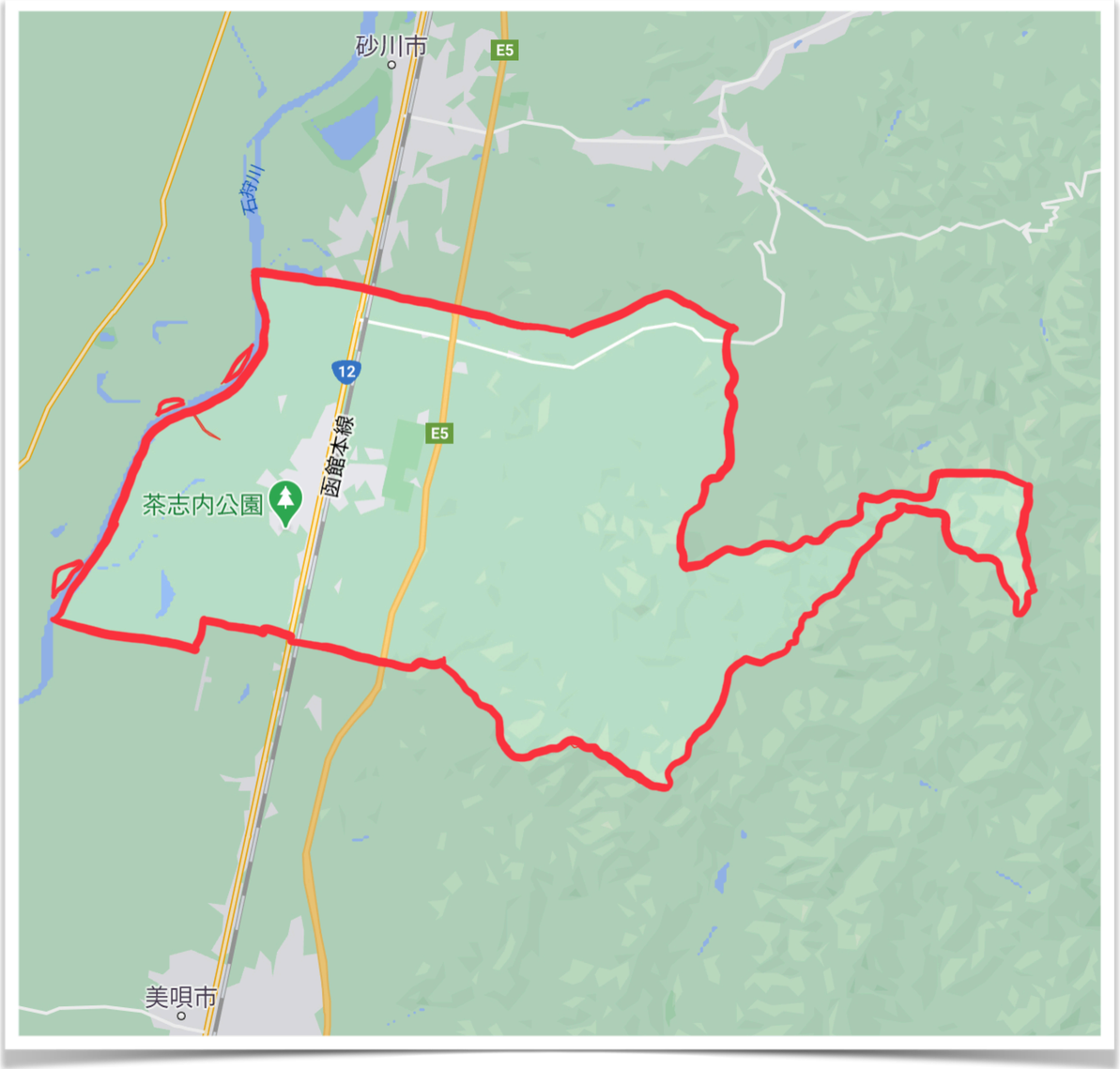
札幌と旭川の中間

人口約5,000人

高齢化率約40%

農業の町

リハ職２人



Situation：現状

奈井江町の状態①

介護予防事業において、リハビリテーション専門職と関わる上での課題は？

町内の病院には理学療法士はいるが、地域で活動できる体制ではないため、予防教室は町外の病院に依頼しきてもらっている。訪問指導やケア会議の参加まで至っていない。地域で活動できる専門職が不足し、相談できない状況である。

2022年にHARPにて実施した行政むけアンケート結果参照

奈井江町の状態②

介護予防事業において、活動を定着させていくための課題をご記入ください。

活動を定着させるためには、専門職が必要。しかし、人材不足や安定した需要がないため、自治体での雇用が難しい。必要時に地域ケア会議や個別訪問、リハビリのアドバイスをいただける体制をつくるため、保健所単位での雇用や、中核病院で地域リハビリについての相談や派遣、訪問指導できるような体制を望む。

2022年にHARPにて実施した行政むけアンケート結果参照

奈井江町の状態③

介護予防事業において、リハビリテーション専門職に求める協力の内容は？

住民通いの場の支援、
（個別）訪問指導、地域ケア会議

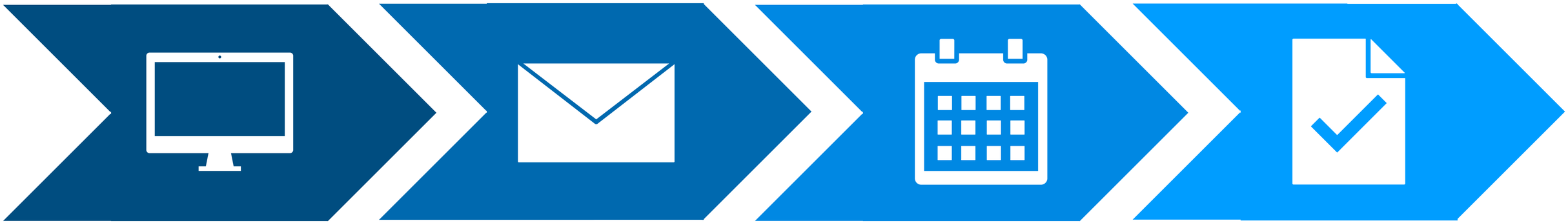
2022年にHARPにて実施した行政むけアンケート結果参照

奈井江町の状態④

- △ リハビリ専門職の不足
- △ 自治体としての雇用困難
- △ 行政は協力を求めている
- △ HARPとしての協力実績無し

Story：事業開始まで

事業開始までの流れ



1,認知

HARPの研修会にて
地区別の交流

2,行動

連絡を取り
話し合いの場を設定。

3,対面

HARPとしての
関わりを検討

4,実施

事業へ参加

事業開始までの流れ

1,認知

HARPの研修会にて繋がる
活動を行いたい旨を伝える

事業開始までの流れ

2,行動

研修会の翌日に連絡！

話し合いの場を設けたい旨を伝える

事業開始までの流れ

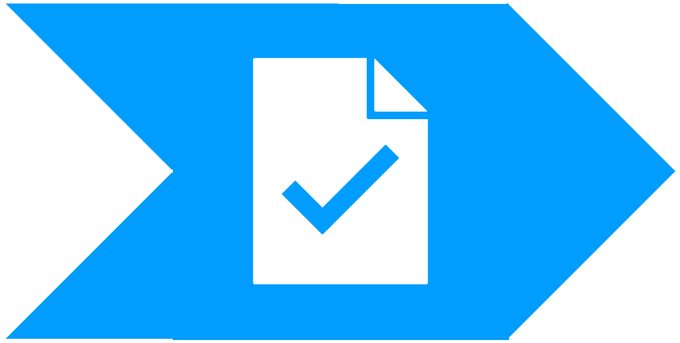
3,対面

奈井江町の現状を知る

初回の事業を検討

事業開始までの流れ

4,実施



事業への参加開始

Action：事業

住民通いの場の支援

- ✓ すぐに実施できそうだった
- ✓ 短時間
- ✓ 定期的な開催
- ✓ 需要があった

個別訪問指導

- ✓ 難渋事例
- ✓ 身体機能・環境評価にニーズ
- ✓ 運動方法の検討・相談

地域ケア会議

- ✓ 町内のリハ課題を共有
- ✓ 個別事例の検討

Task&Future：課題と展望

課題

- ✓ 人員的課題
- ✓ 時間的課題
- ✓ 職場的課題

展望

✔ 協力事業の継続・発展

最後に

- ✓ 行動に移してみましょう
- ✓ 勉強や経験は大切
- ✓ 周囲の理解は必要